

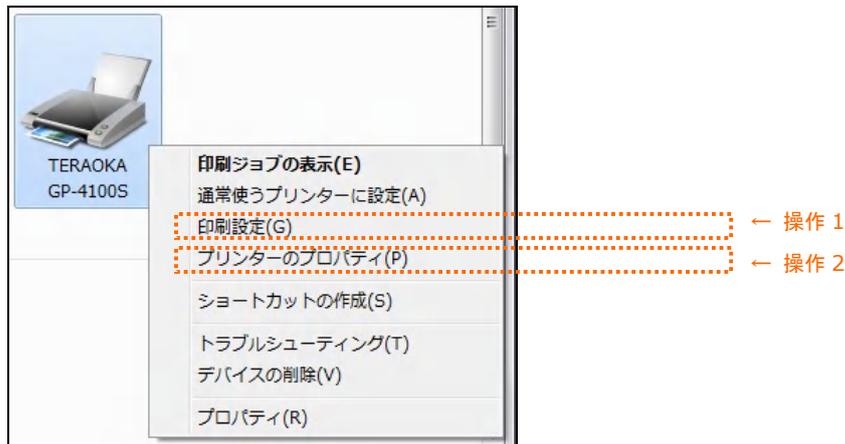
GPプリンタードライバ Ver3.1.0

印刷設定及び機能関連資料

3.1.0 版
(株)寺岡精工

1. 印刷設定

下記の操作により、印刷設定を表示します。この値はログインユーザー毎に管理されます。



操作 1	操作 2
1. “印刷設定(G)”を選択。	1. “プリンタのプロパティ(P)”を選択。 2. 全般タブ - [基本設定]ボタンを押す。 

Memo:

“プリンタのプロパティ” - “詳細設定”タブ - [標準の設定]ボタン

上記の操作で表示される印刷設定は、システムのデフォルト値です。ログインユーザー生成時の初期値として使用されます。

1-1. 印刷設定 - ラベル



設定項目	説明
ラベル名	<p>使用するラベルを選択します。 ラベルは用紙サイズの他に、印字速度などのプリンタ設定値も含むデータです。</p> <p>ラベルのデフォルトはカスタムラベルになっています。 カスタムラベルは[設定値]ボタンを押して、2-1. カスタムラベルで記述されたように設定内容を変更できます。 新たにラベルを追加する場合は 2-2. ユーザー定義ラベルをご参照下さい。</p>
印刷時の位置調整	印刷開始位置を調整します。
用紙向き	用紙向きを選択します。
印刷順序	印刷順序を選択します。
1枚に印刷するページ数	1枚に何ページ印刷するか選択します。
部数	部数を指定します。
[紙送り]ボタン	対象 GP に紙送り(フィード)を指示します。

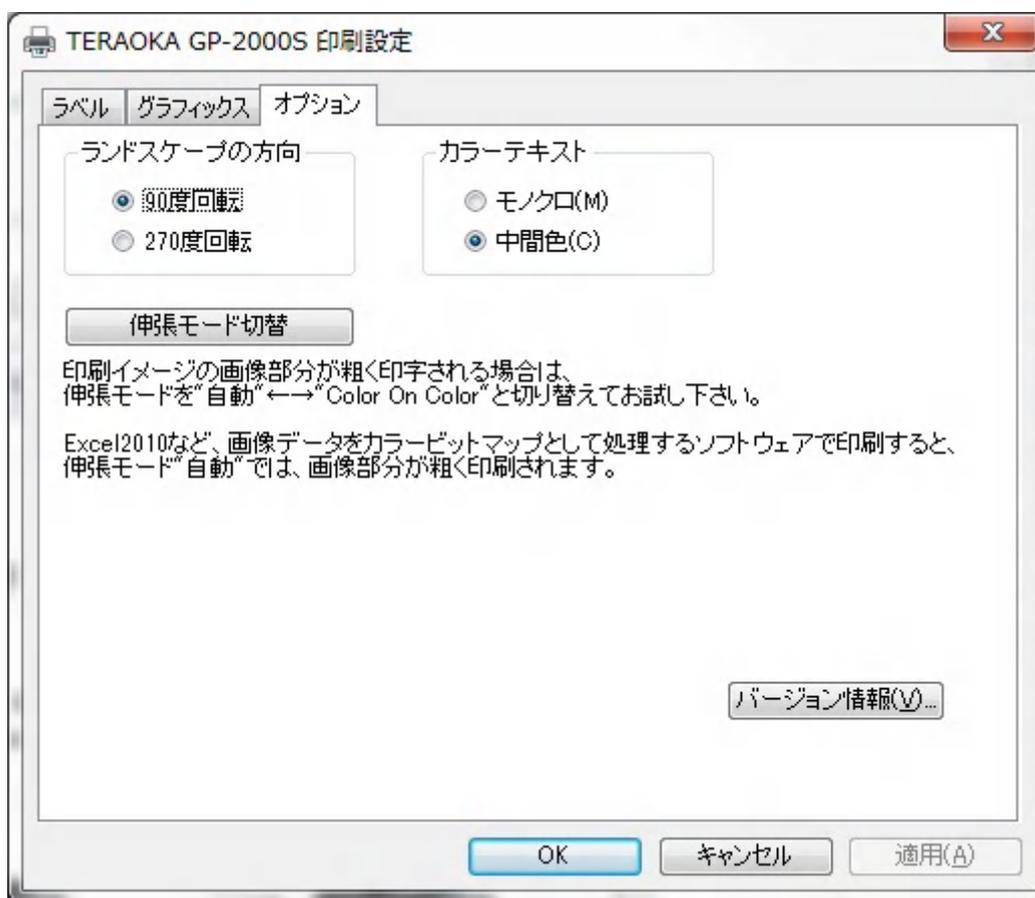
1-2. 印刷設定 - グラフィックス



GP プリンタで使用する機会は、ほとんどありません。

設定項目	説明
解像度	対象プリンタの解像度を表示します。
グラフィックパターン	グラフィックパターンを選択/調整します。

1-3. 印刷設定 - オプション



設定項目	説明
ランドスケープの方向	ランドスケープの方向を選択します。
カラーテキスト	カラーテキストを有効にする場合は中間色を選択します。
伸張モード切替	伸張モードを切り替えるダイアログを表示します。 印刷イメージ上の画像データのラスターサイズ方法を選択します。 画像データが粗く印刷される場合は、「自動」「Color On Color」と切り替えてお試し下さい。

2. ラベル（用紙）の設定

【ラベル】

「ラベル」は、用紙サイズやプリンタの発行条件（印字速度、発行方式など）を含む情報です。

【カスタムラベル】

「カスタムラベル（2-1. カスタムラベル）」はデフォルトで登録されており、設定値を編集可能な「ラベル」です。

カスタムラベルの設定値を変更することで、用紙サイズや発行条件を変更できます。

数種類の用紙をご利用される場合は、「ユーザー定義ラベル」項をご参照下さい。

【ユーザー定義ラベル】

「ユーザー定義ラベル（2-2. ユーザー定義ラベル）」とは、お客さまが登録/編集/削除可能な「ラベル」です。

数種類の用紙を使用される場合は、印刷毎にカスタムラベルの値を変更するか、用紙毎に作成した「ユーザー定義ラベル」を選択することになります。

2-1. カスタムラベル

※GP-4100Sの画面

設定項目	説明
ラベル名	印刷設定を含めた用紙サイズの名称です。ここではカスタムラベル固定となります。
ラベル幅	用紙幅を指定します。※
ラベル長	用紙長を指定します。※
ギャップ	ギャップ長を指定します。※
印字速度	印刷速度を指定します。※
印字濃度	印刷濃度を指定します。※
ラベルタイプ	ラベルタイプを指定します。※
発行形式	発行形式を指定します。※
センサー	ラベル間を検出するセンシング方式を指定します。※
センサー検出	センサーによる検出の有無を指定します。
上余白	印刷開始位置の上部マージンを指定します。[0-499mm]
左余白	印刷開始位置の左部マージンを指定します。[0-79mm]
印刷ジョブ終了毎に フィードする	印刷ジョブ終了時に GP へ紙送りを指示する機能です。 次ページ「補足」をご参照下さい。
GP-4100S 専用項目の設定	GP-4100S 専用の設定画面を表示します。
GP-2000S 専用項目の設定	GP-2000S 専用の設定画面を表示します。
ワックスリボン セミレジンリボン レジンリボン	リボン毎の濃度目安を表示します。

※上限値/下限値、および設定項目で選択可能な内容は7-1. 機種別ラベル設定値をご参照下さい。

補足：“印刷ジョブ終了毎にフィードする”

メンテナンスの「発行後自動フィード」が“あり”の場合、本項目は非表示になり、機能しません。

また、発行形式が“自動剥離”の場合も機能しません。

GP-2000S のオートカット発行では、非表示となり機能しません。

GP-4100S 系の発行形式“外部巻取り”では、以下の条件に限り本項目は機能します。

GP-4100S 系		
内容 条件	項目	設定内容
条件 1	発行形式	外部巻取り
	発行後自動フィード	なし
	外部巻取りの種類	前置き
条件 2	発行形式	外部巻取り
	発行後自動フィード	なし
	外部巻取りの種類	下置き
	外部巻取りの強制発行	あり

[GP-4100S 専用項目の設定]

カスタムラベル設定

リボン幅(リボントルク調整用)(D): mm
※0mm:ラベル幅をリボン幅として扱います

ヘッド切れチェック

チェック範囲: チェックしない(E)
 ラベル全体をチェック(E)

チェックタイミング:
 発行開始のみ(G)
 指定枚数ごと(H)

指定枚数(D): 枚

オートカッター

カット単位枚数を発行する毎にカットする(J)
カット単位(K): 枚

ラベル長50mm以上時にバックフィードする(M)
(バックフィードしない場合、ラベル1枚を無駄にして発行開始します)

OK

[GP-2000S 専用項目の設定]

カスタムラベル設定

ヘッド切れチェック

チェック範囲: チェックしない(E)
 ラベル全体をチェック(E)

チェックタイミング:
 発行開始のみ(G)
 指定枚数ごと(H)

指定枚数(D): 枚

オートカッター

カット単位枚数を発行する毎にカットする(J)
カット単位(K): 枚

※オートカッター欄は発行形式を“オートカット”にすると操作が可能になります。

OK

[OK]ボタンを押した後、メイン(カスタムラベル設定)ダイアログの[OK]ボタンを押すと設定値が保存されます。

[キャンセル]を押すと、設定値は保存されません。

2-1-1. カスタムラベル使用例

[注意]

カスタムラベルの幅、長さが“固定用紙”と同じ場合、ページ設定でカスタムラベルを選択しても、固定用紙として認識するソフトウェアもあります。

カスタムラベルの幅・長さが採用されない例

[Word 2000]

対象プリンタは GP-2000S。ページ設定で用紙サイズ幅 80mm、長さ 55mm に設定する。

⇒ 固定用紙“幅 80mm × 長さ 55mm ラベル”として設定してしまう。

カスタムラベルの幅・長さが採用される例.

[Excel 2000]

対象プリンタは GP-2000S。ページ設定で用紙サイズを空欄にしておく。

⇒ プリンタのプロパティからカスタムラベル設定の幅、長さを変更すると、その値でページ設定を行う。

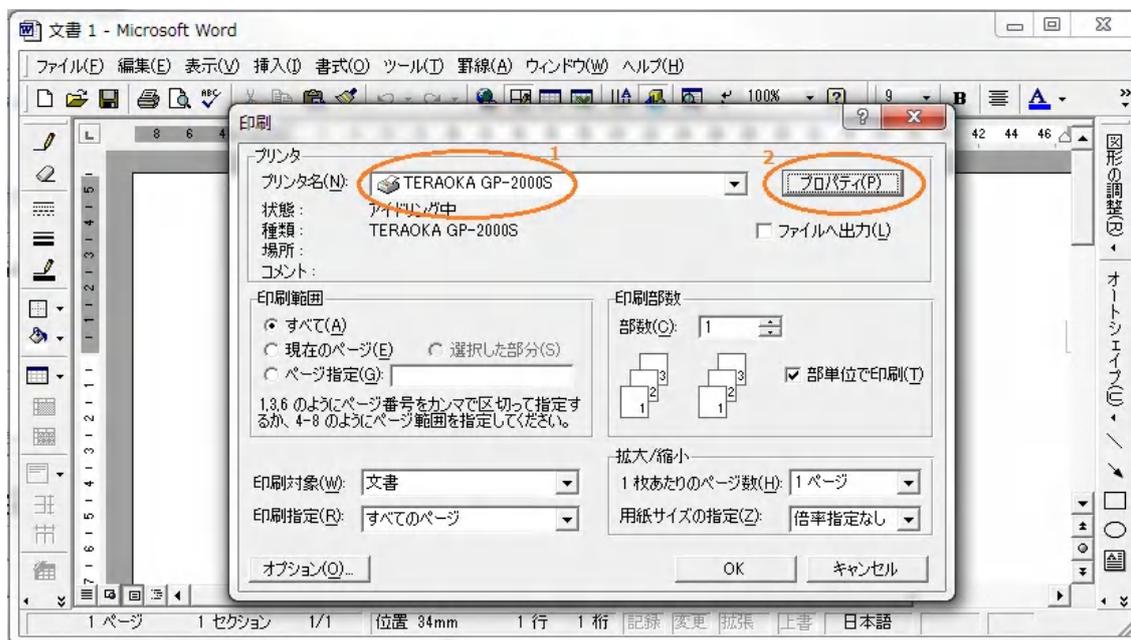
上記のように固定用紙サイズが優先されてしまう場合は、2-2. ユーザー定義ラベルをご使用下さい。

Note:

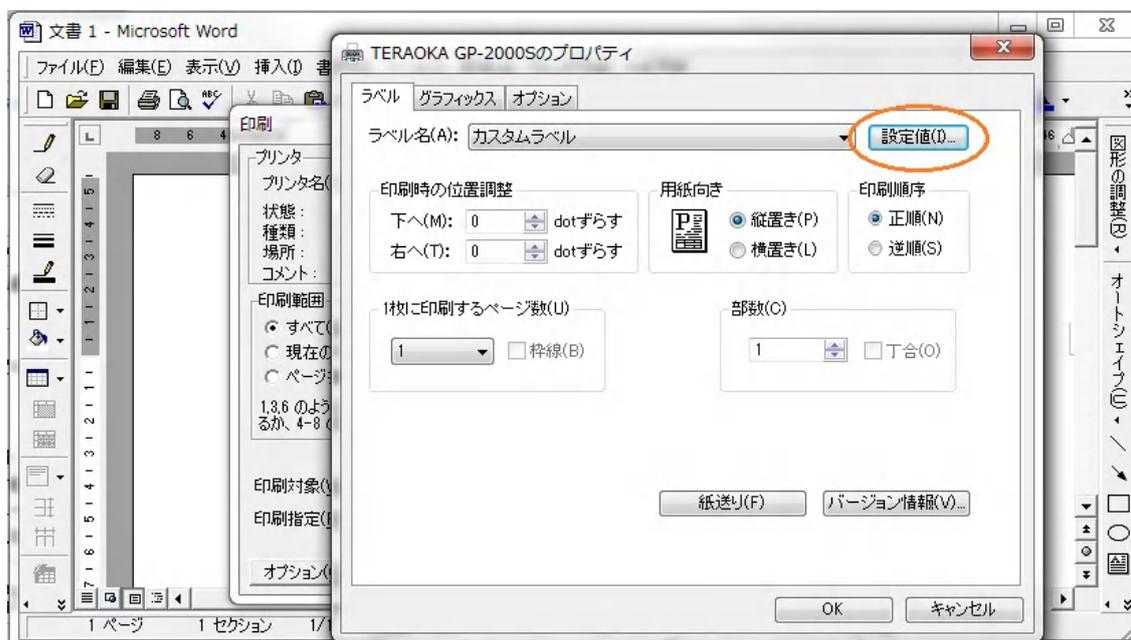
本使用例はカスタムラベルで幅 60mm・長さ 45mm を指定しています。

Word2000 ですが、サイズが一致する固定用紙が存在しないために、カスタムラベルの値で印刷することができません。

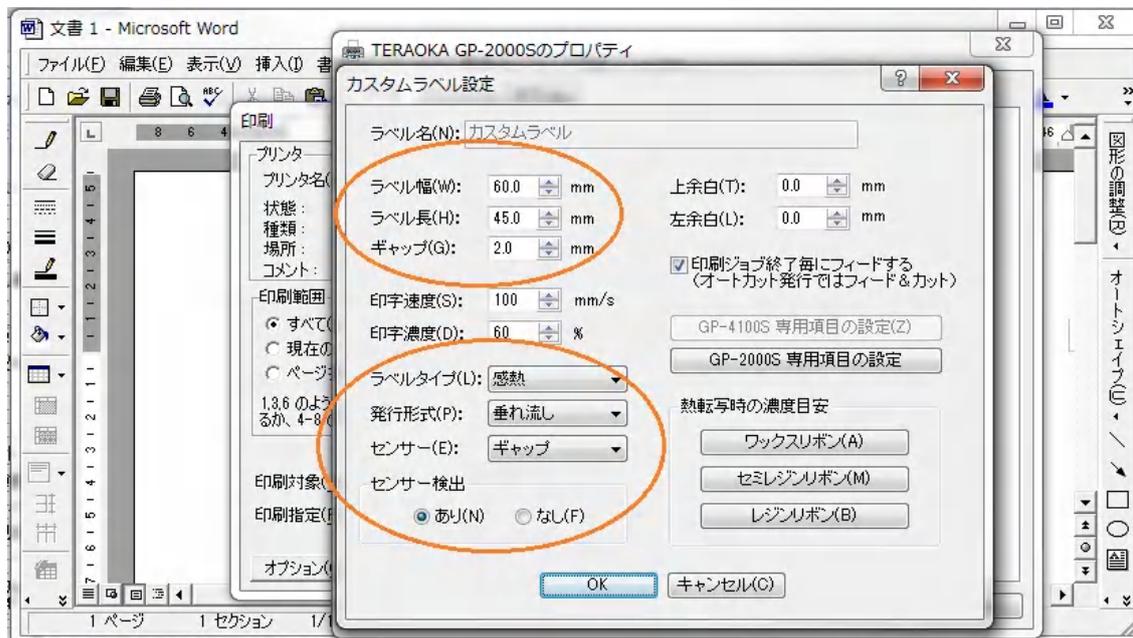
1. “プリンタ名(N)”でGPプリンタを選択し、[プロパティ(P)]ボタンを押します。



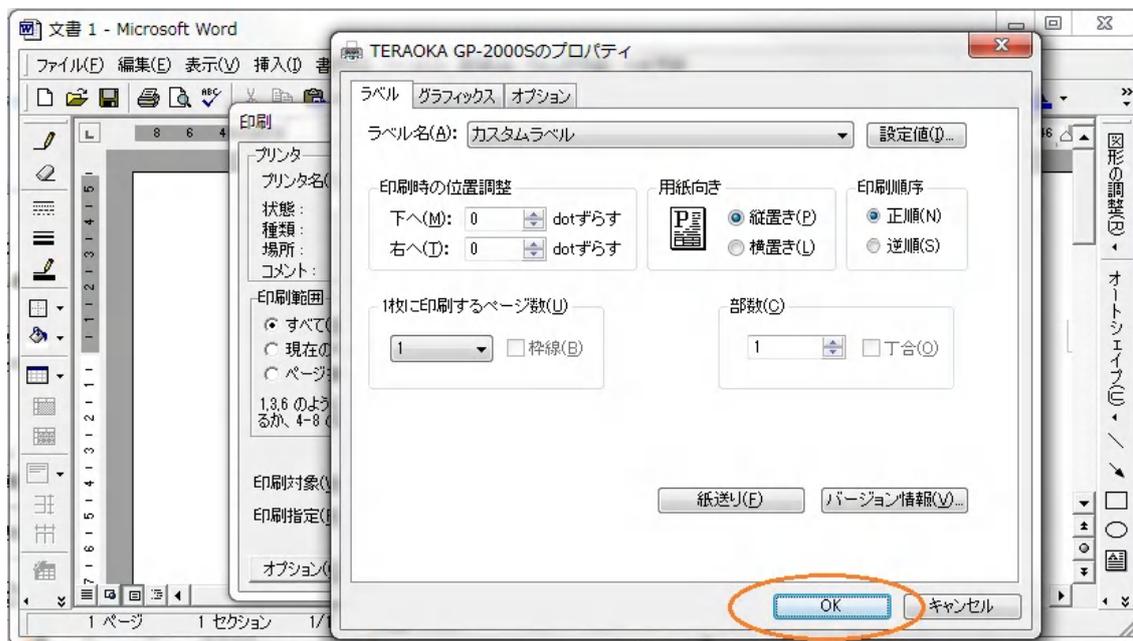
2. “ラベル名(A)”がカスタムラベルであることを確認し、[設定値(I)]ボタンを押します。



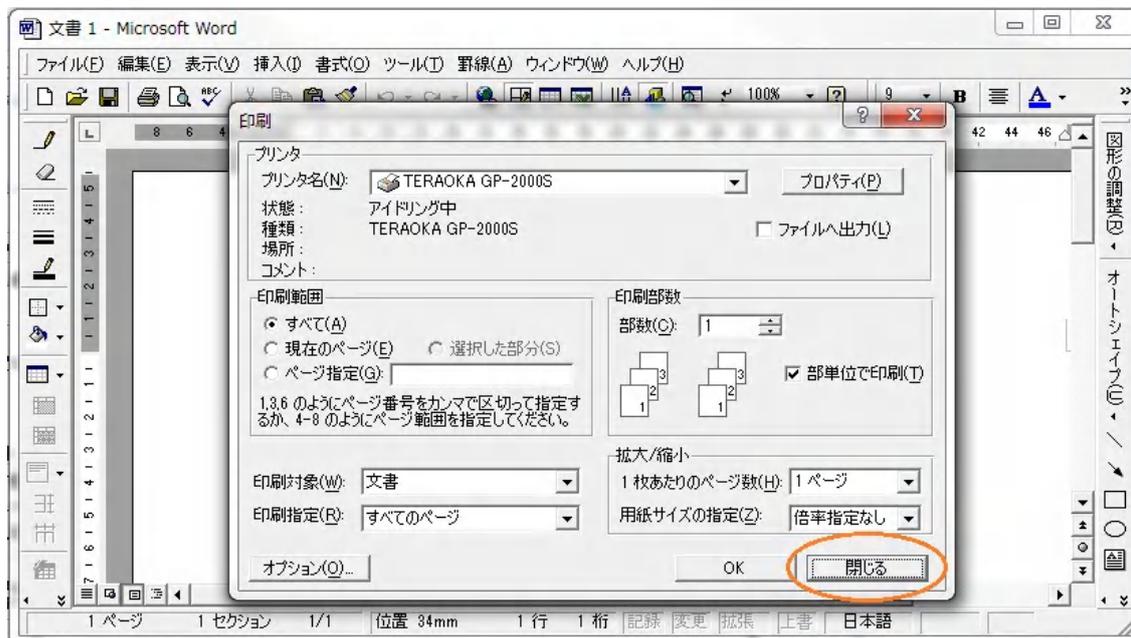
3. 使用する用紙サイズ、発行形式などを編集し、[OK]ボタンを押します。



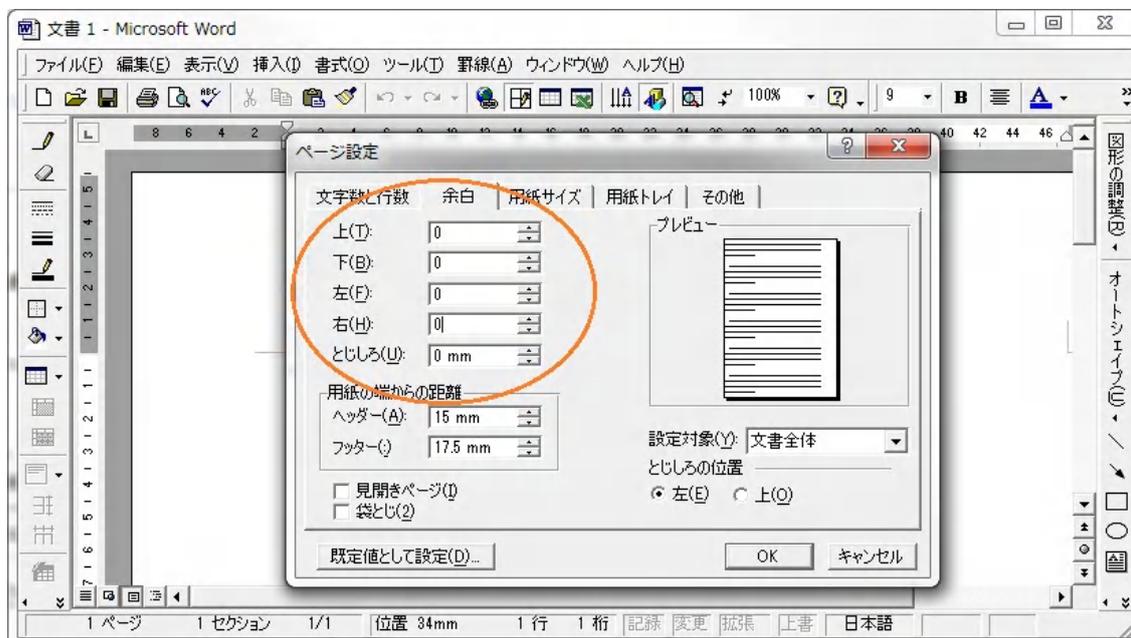
4. [OK]ボタンを押します。



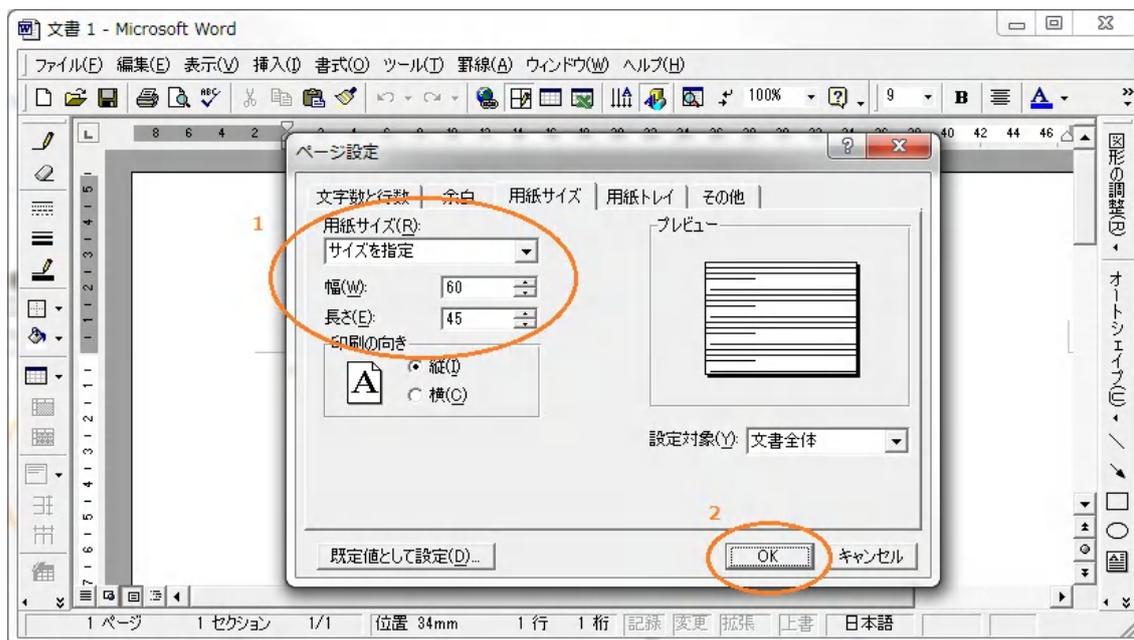
5. [閉じる]ボタンを押します。まだ[OK]は押さないで下さい。



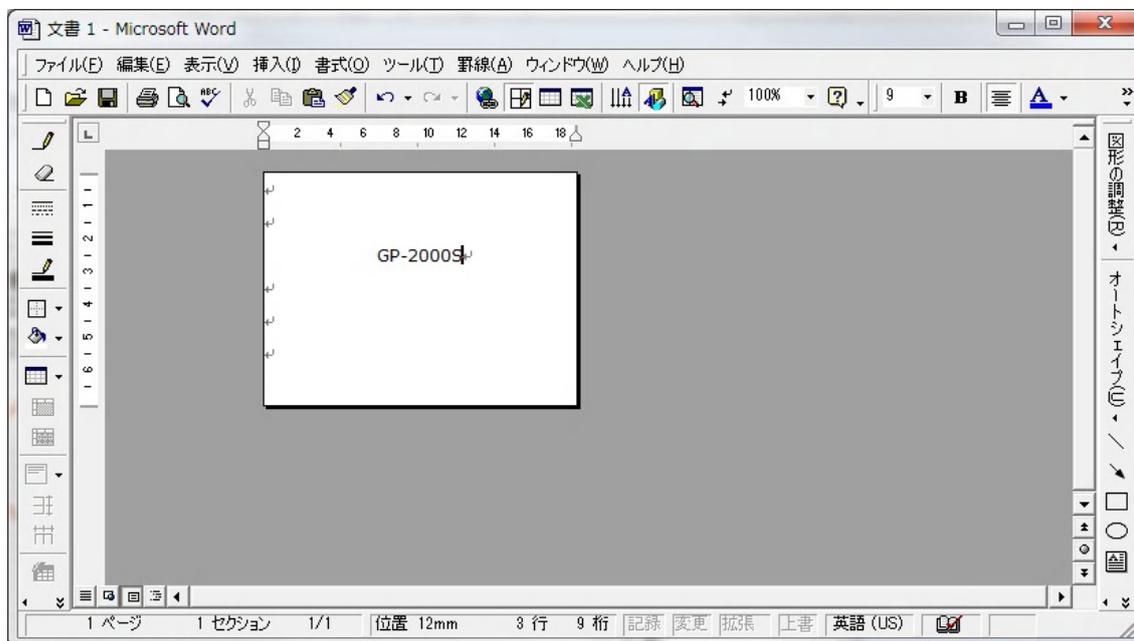
6. “ファイル(F)”メニューからページ設定を開きます。上下左右の余白を0にします。



7. “用紙サイズ”タブで幅と長さを変更し、[OK]ボタンを押します。



8. 以上で完了です。文字を入力して印刷します。



2-2. ユーザー定義ラベル

ユーザー定義ラベルを使って、独自の設定値を最大 30 個まで登録することができます。

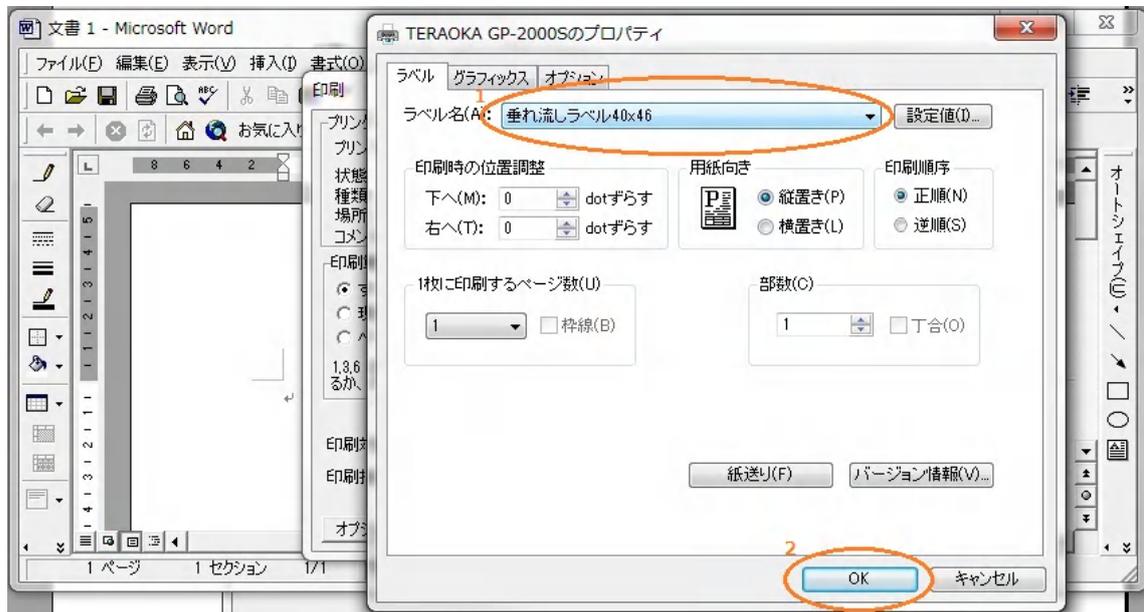
“プリンタのプロパティ” ~ “ユーザー定義”タブ



ユーザー定義ラベルの設定項目は、カスタムラベル設定と同じ内容になります。

参照: 2-1. カスタムラベル

3. ラベル名で「垂れ流しラベル 40x46」を選択し、[OK]を押します。



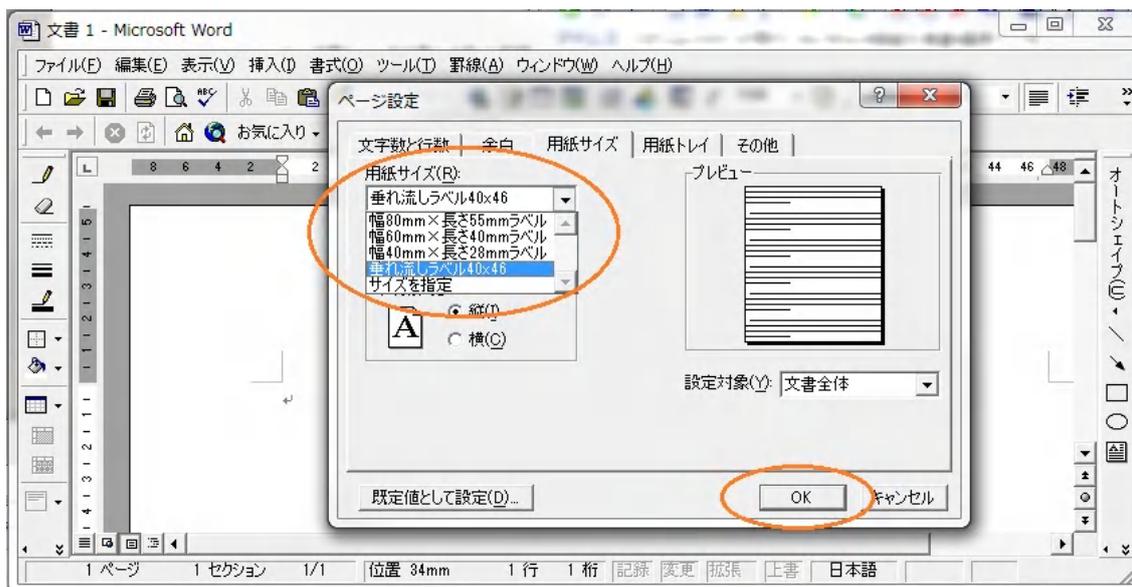
4. [閉じる]ボタンを押します。この時点では[OK]を押しません。



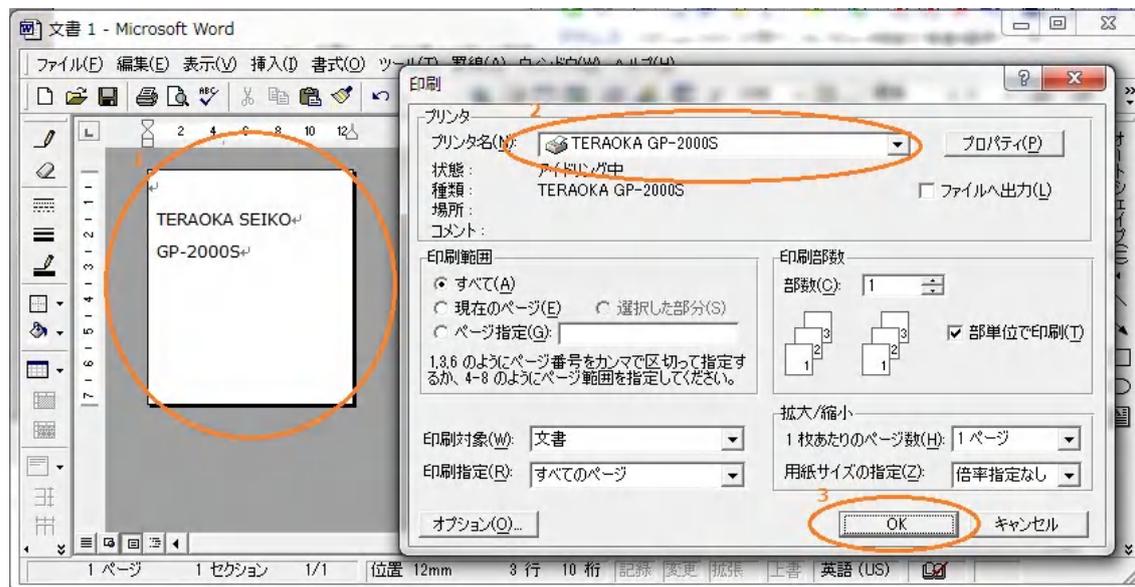
5. “ファイル(F)”メニューから“ページ設定(U)”を選択し、上下左右の余白を0に変更します。



6. 用紙サイズで「垂れ流しラベル 40x46」を選択し、[OK]を押します。



7. 印刷したい文字を記述し、“ファイル(F)”メニューから印刷します。



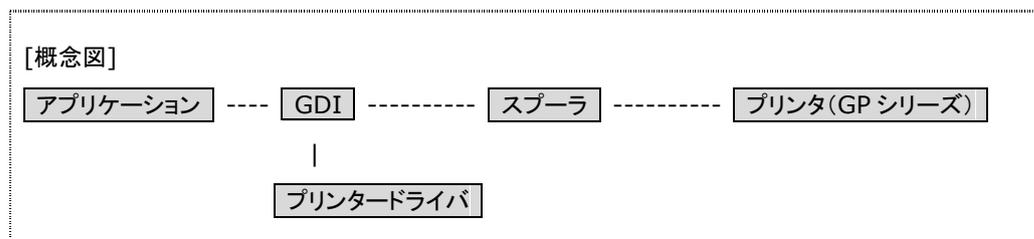
Note:

“ファイル(F)”-“印刷(P)”の[プロパティ(P)]ボタンから、ユーザー定義ラベルの内容は編集できません。

2-2. ユーザー定義ラベルの“ユーザー定義ラベル”タブからご編集下さい。

3. 印刷

アプリケーションは、本ドライバを使用して GP シリーズで印刷できます。



発行中、GP は自身の[FEED]キーを無効にします。

発行していない時は(印刷データ受信中においても)GP の[FEED]キーは機能する仕様になっています。

3-1. 印刷データ送信前の確認

印刷前に GP から情報を取得して、印刷データ送信の可否を判定します。

確認項目	機種			
	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
GP アプリのバージョン	○※1	なし	○※1b	○※1a
コントローラのバージョン	○※2			○※2a
外部巻取り時の強制発行	○※3			なし
印字濃度	○※4	なし		

※1: v2.00 未満の場合は、エラーメッセージを表示して印刷しません。

<p>プリンタのアプリケーションが Ver2.00 未満の為、発行できません。 バージョンアップいたしますので、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。 [OK] … 印刷中止</p>

※1a: v2.00 未満の場合は、エラーメッセージを表示して印刷しません。

<p>プリンタのアプリケーションが Ver2.00 未満の為、発行できません。 バージョンアップいたしますので、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。 [OK] … 印刷中止</p>

※1b: v3.30 未満の場合は、エラーメッセージを表示して印刷しません。

<p>プリンタのアプリケーションが Ver3.30 未満の為、発行できません。 バージョンアップいたしますので、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。 [OK] … 印刷中止</p>

※2: v0.9 未満の場合は、エラーメッセージを表示して印刷しません。

<p>プリンタコントローラが Ver0.9 未満の為、発行できません。 バージョンアップいたしますので、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。 [OK] … 印刷中止</p>

※2a: v1.9 未満の場合は、エラーメッセージを表示して印刷しません。

<p>プリンタコントローラが Ver1.9 未満の為、発行できません。 バージョンアップいたしますので、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。 [OK] … 印刷中止</p>

※3: 「外部巻取り時の強制発行」が“しない”に設定されている場合は、①と②のケースをチェックします。

①「外部巻取り」ありの設定で、用紙が手切りカッター位置にある場合

ギャップが手切りカッターの位置にあります(バックフィードしてから印字する状態)。 このまま発行してもよろしいですか？ [はい(Y)] … 印刷開始 [いいえ(N)] … 印刷中止

②外気温がマイナスの場合

外気温が 0℃未満です。 印字品質を低下させる要因になりますので、設置環境を変えてご使用下さい。 [OK] … 印刷中止

※4: 印字濃度が推奨上限値を超えている場合は、エラーメッセージを表示して印刷しません。

印字濃度が推奨値を超えています。 印字品質を低下させる要因になりますので、印刷設定で選択しているラベルの印字濃度を XX%以下に設定し直して下さい。 [OK] … 印刷中止

3-2. 印刷前に通知されるメッセージ

印刷データ送信前に GP へ印刷の可否を問い合わせます。

GP からエラーや状態を通知されると、メッセージダイアログを表示します。

プリンタ名
XX XX
[継続] [紙送り] [中止]

[継続]	未印刷イメージから処理を継続します。 2 枚の印刷指示だった場合は 2 枚印刷されます。
[紙送り]	GP へフィード指示を送信します。
[中止]	印刷を中止します。

参照: 7-2. 印刷時に GP から通知されるメッセージ

3-3. 印刷後に通知されるメッセージ

GP は印刷後の状態を PC へ通知します。

エラーや状態を通知されると、メッセージダイアログを表示します。

プリンタ名
XX XX
[継続] [紙送り] [中止] [再発行]

[継続]	次の印刷イメージから処理を継続します。 2 枚の印刷指示だった場合、2 枚印刷されますが、1 枚は正常印字ではない可能性があります。
[紙送り]	GP へフィード指示を送信します。
[中止] [キャンセル]	印刷を中止します。
[再発行]	前回送信した印刷イメージを再送信します。

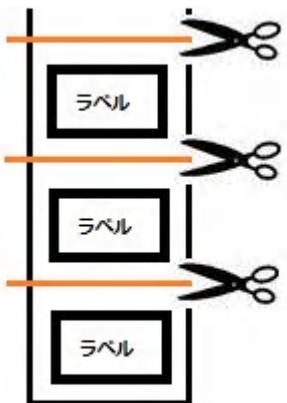
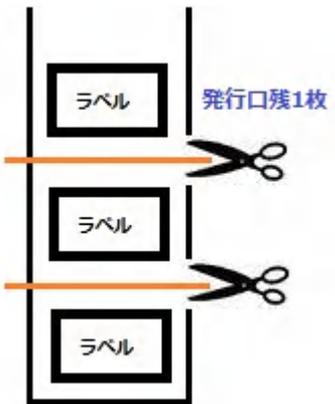
参照: 7-2. 印刷時に GP から通知されるメッセージ

3-4. オートカット印刷(GP-4100S系)

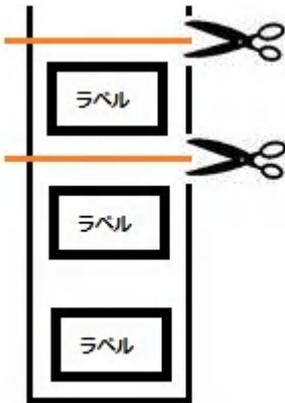
カットパターンと必要な設定を記します。

Note:

- ・ 印刷エラー発生時(3-3. 印刷後に通知されるメッセージ参照)の[再発行]ボタンを押した場合は、1枚印刷し、カット単位枚数であればGPはカットします。
- ・ [継続]ボタンを押すと、GPは[再発行]で印刷された枚数も含め、カット単位枚数毎にカットします。

Ex. 3 ページ印刷、1枚毎にカット	
	<p>[ラベル設定 - 設定内容]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 印刷ジョブ終了毎にフィードする (オートカット発行ではフィード&カット)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> カット単位枚数を発行する毎にカットする(Ⓧ)</p> <p>カット単位(K): 1 枚</p> <p>[メンテナンスモード - 設定内容]</p> <p>“発行後自動フィード”: なし</p>
	<p>[ラベル設定 - 設定内容]</p> <p><input type="checkbox"/> 印刷ジョブ終了毎にフィードする (オートカット発行ではフィード&カット)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> カット単位枚数を発行する毎にカットする(Ⓧ)</p> <p>カット単位(K): 1 枚</p> <p>[メンテナンスモード - 設定内容]</p> <p>“発行後自動フィード”: なし</p>

Ex. 3 ページ印刷、2 枚毎にカット



[ラベル設定 - 設定内容]

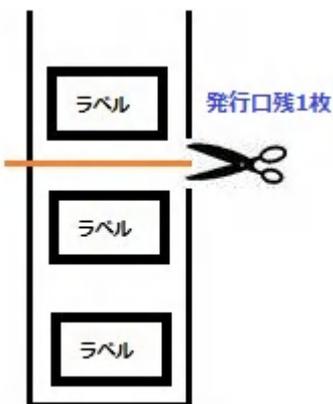
印刷ジョブ終了毎にフィードする
(オートカット発行ではフィード&カット)

カット単位枚数を発行する毎にカットする(J)

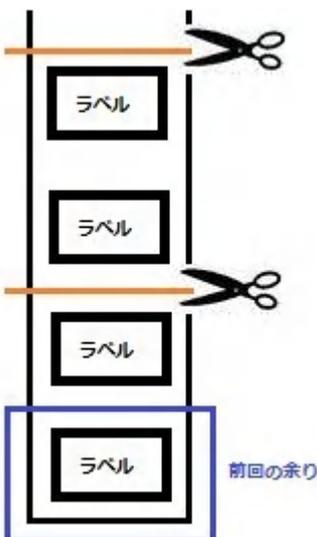
カット単位(K): 2 枚

[メンテナンスモード - 設定内容]

“発行後自動フィード”: なし



さらに 3 頁を印刷



[ラベル設定 - 設定内容]

印刷ジョブ終了毎にフィードする
(オートカット発行ではフィード&カット)

カット単位枚数を発行する毎にカットする(J)

カット単位(K): 2 枚

[メンテナンスモード - 設定内容]

“発行後自動フィード”: なし

3-5. オートカット印刷(GP-2000S 系)

カットパターンと必要な設定を記します。

※2000S のオートカット印刷では、“印刷ジョブ終了毎にフィードする”は表示されません。

Ex. 3 ページ印刷、1 枚毎にカット	
	<p>[ラベル設定 - 設定内容]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> カット単位枚数を発行する毎にカットする(Ⓧ)</p> <p>カット単位(K): 1 <input type="text"/> 枚</p> <p>[メンテナンスモード - 設定内容]</p> <p>“発行後自動フィード”: なし</p>

※2000S のオートカット印刷では、“印刷ジョブ終了毎にフィードする”は表示されません。

Ex. 3 ページ印刷、2 枚毎にカット	
<p>[ラベル設定 - 設定内容]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> カット単位枚数を発行する毎にカットする(↓)</p> <p>カット単位(K): 2 枚</p>	<p>[メンテナンスモード - 設定内容]</p> <p>“発行後自動フィード”: なし</p>
<p>① 3 ページを印刷</p>	
<p>② 続いて 3 ページを印刷</p> <p style="text-align: right;">2 枚毎にカット</p>	<p>②' 続いて 1 ページを 3 部で印刷 (=同イメージ 3 枚)</p> <p style="text-align: right;">初回カットが 3 枚単位</p>

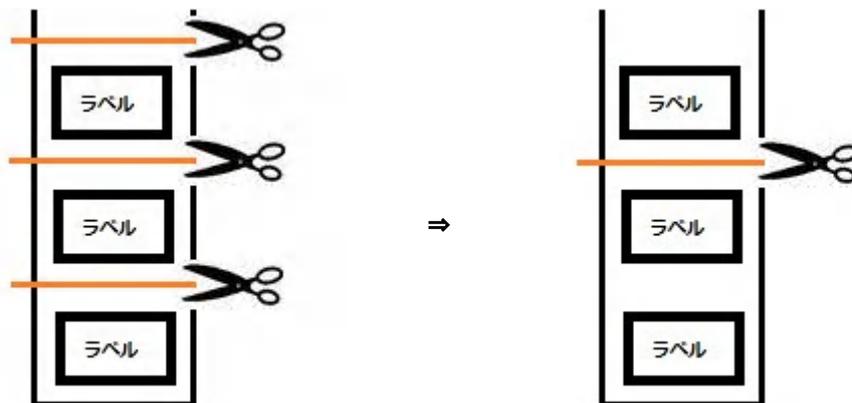
発行口にラベルが残っている場合、「1 部複数ページ」⇔「1 ページ複数部数」と印刷指定が切り替わると、初回カット部分はカット単位枚数でカットされないケースが発生します。

Note:

- 印刷エラー発生時(3-3. 印刷後に通知されるメッセージ参照)の[再発行]ボタンを押すと、必ず 1 枚毎にカットします。[再発行]押下後に[継続]ボタンを押した時点から、カット単位枚数毎にカットし始めます。

Ex. [再発行]ボタン×3 回押し

Ex. [継続]ボタン押し



※カット単位に関わらず 1 枚毎にカット

※カット単位毎にカットを開始(上図はカット単位 2 枚の例)

- 次の動作後に 2000S の[紙送り]キーを押すと、フィードのみ行います。

状況
1 部指定の印刷で最後に用紙をカットしなかった場合。 Ex.) カット単位:2 枚、1 部 3 ページを印刷 ⇒ 発行口に 1 枚残る ⇒ [紙送り]キー押し ⇒ フィードのみ
1 部指定の印刷で、カット単位以外のページで印刷エラーが発生し、[再発行]を押さずに[中止]を押した場合。

3-6. 自動剥離印刷

印刷され、台紙から剥離されたラベルが発行口に出てきます。

印刷するページが残っている時に、ラベルが発行口に残ったまま約 15 秒以上経過すると、プリンタードライバは下記のダイアログを表示します。

プリンタ名
ラベルをお取りください。
[発行中止]

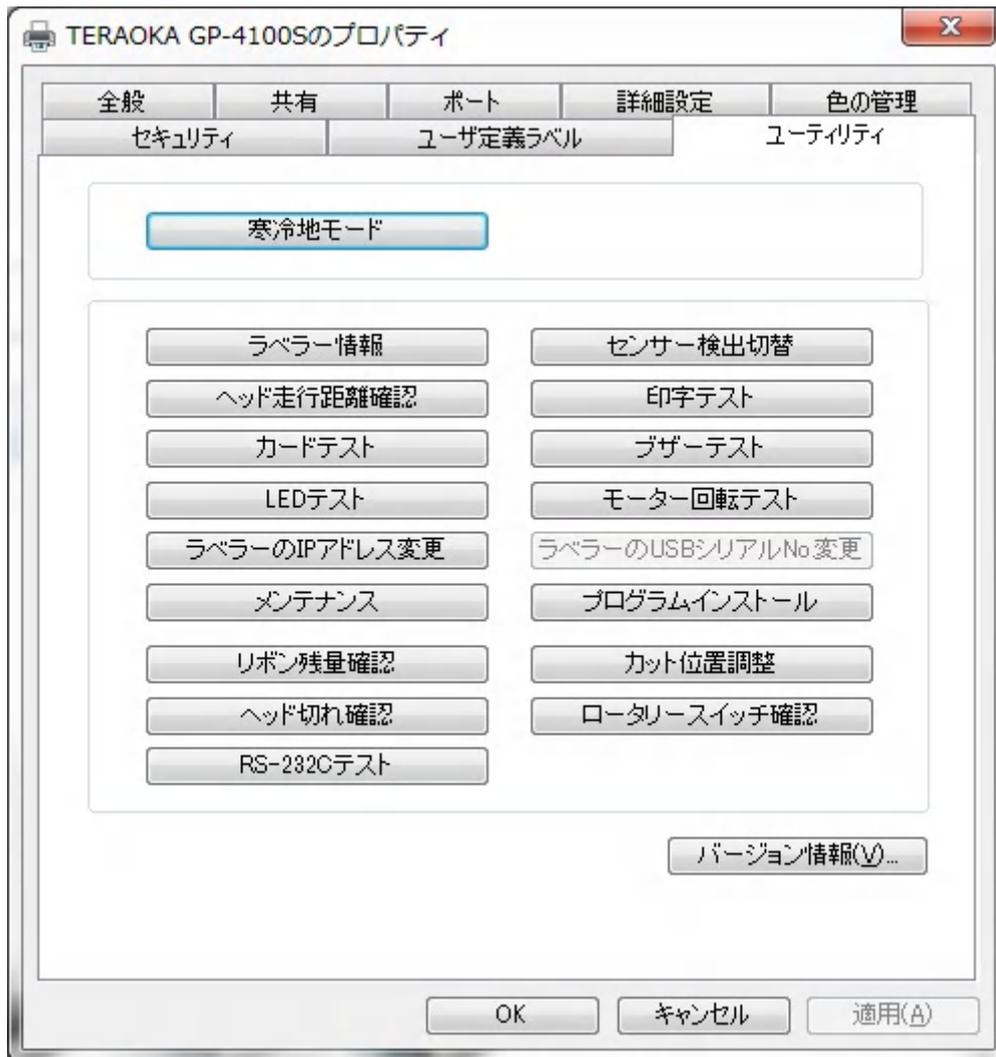
Note:

ラベルが発行口に残っていない状態で 1 枚のみ自動剥離印刷した場合は、プリンタにより動作が異なります。

機種	印刷して 15 秒以上経過した後の動作
460RSe, 4100S, 4100S24	「ラベルをお取りください」ダイアログは表示されません。
2000S	「ラベルをお取りください」ダイアログが表示されます。

4. ユーティリティ

GP 側の設定変更、メンテナンス目的に使用します。対象 GP と接続した状態でご使用下さい。



※GP-4100S の画面です。

4-1. 寒冷地モード

機能概要	印刷濃度変化率を[通常][寒冷地]の2つのモードで切り替えます。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスモードの値から、通常 or 寒冷地を表示します。 <p>[寒冷地モード]</p> <p>460RSe: 濃度変化率(25°C未満・感熱)と濃度変化率(25°C未満・熱転写)が10以上 4100S: 濃度-温度変化率(/1000)が10以上 2000S: 濃度変化率(25°C未満・熱転写)が10以上</p> <p>[通常モード]</p> <p>各機種とも上記条件以外を通常モードとして表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> [通常モード]の保存処理 <p>下記の項目を初期値に書き換えます。</p> <p>460RSe: 濃度変化率(25°C未満・感熱), 濃度変化率(25°C未満・熱転写) 4100S: 濃度-温度変化率(/1000) 2000S: 濃度変化率(25°C未満・熱転写)</p> <ul style="list-style-type: none"> [寒冷地モード]の保存処理 <p>下記の項目を15に書き換えます。</p> <p>460RSe: 濃度変化率(25°C未満・感熱), 濃度変化率(25°C未満・熱転写) 4100S: 濃度-温度変化率(/1000) 2000S: 濃度変化率(25°C未満・熱転写)</p>			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-2. ラベラー情報

機能概要	GPの各種情報を表示します。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> 2秒間隔でGPへ問い合わせ、各種情報を表示します。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-3. センサー検出

機能概要	GPのセンサー確認、および調整を行います。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> センサータイプ欄に印刷設定で割り当てられているセンサーを表示します。 3秒間隔でGPへ問い合わせ、センサーの値を表示します。 センサーを制御する項目の手動設定/自動設定を選択できます。 手動設定時は、基準値と抵抗値を変更できます。 センサーの検出調整手順ヘルプを表示します。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-4. ヘッド走行距離確認

機能概要	GPのヘッド走行距離を表示します。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> GPへ問い合わせ、ヘッド切れ警告距離、ヘッド走行距離、本体走行距離を表示します。 ヘッド走行距離がヘッド切れ警告距離を越えている場合は、警告を表示します。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-5. 印字テスト

機能概要	GP の印字テストを実施します。			
機能	・ [発行開始]ボタンで印字テストコマンドを送信し、発行中止画面を表示します。 ・ GP は最後に発行した印刷条件(ラベルサイズ、印字速度など)で印刷します。 ・ GP-2000S では「枚数指定発行」のみを選択可能です。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-6. カードテスト

機能概要	GP のストレージ情報を表示します。			
機能	・ GP へ問い合わせ、「内蔵」「カード 1」「カード 2」の情報を表示します。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-7. ブザーテスト・LED テスト

機能概要	ブザー、LED の動作テストを実施します。			
機能	・ GP へブザー鳴音、LED 点滅を指示します。 ・ LED がない機種の動作は、GP に依存します。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-8. モーター回転テスト

機能概要	モーターの動作テストを実施します。			
機能	・ 内部巻取り、外部巻取りなどのモーターの回転/停止を GP へ指示します。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-9. ラベラーの IP アドレス変更

機能概要	プリンタ側の IP アドレスを変更します。			
機能	・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、機械番号の変更を GP へ指示します。 ・ GP-2000S 以外の機種では、事前に[MODE]キーを押したまま GP を起動して、IP アドレス変更モードにしておく必要があります。 ・ プリンタ側でも変更できます。該当する GP の取扱説明書をご参照下さい。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-10. ラベラーの USB シリアル No.変更

機能概要	プリンタ側の USB シリアル番号を変更します。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> USB シリアル番号の変更を GP へ指示します。 プリンタ側でも変更できます。該当する GP の取扱説明書をご参照下さい。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	×	○	○	×

4-11. メンテナンス

機能概要	GP のパラメータ調整を行うモードを呼び出します。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> 5. メンテナンスをご参照下さい。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-12. プログラムインストール

機能概要	GP のファームウェアを書き換えます。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> 対象 GP へファームウェアを送信します。 GP-2000S 以外の機種では、事前に[FEED]キーを押したまま GP を起動して、プログラムインストールモードにしておく必要があります。 ファームウェア送信の正否のみ通知します。インストール完了/未完了には関知しません。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	○	○	○	○

4-13. リボン残量確認

機能概要	リボンの残量を確認します。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> GP からリボン残量に関する情報を取得します。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	×	○	○	×

4-14. カット位置調整

機能概要	オートカッターのカット位置を調整します。			
機能	<ul style="list-style-type: none"> カット位置の調整、設定値の初期化を行います。 			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	×	○	○	○

4-15. ヘッド切れ確認

機能概要	ヘッドに損傷箇所がないかを確認します。			
機能	・ GP からヘッド切れの有無と損傷位置を取得します。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	×	○	○	○

4-16. ロータリースイッチ確認

機能概要	ロータリースイッチの動作を確認します。			
機能	・ GP から現在のロータリースイッチが示す位置を取得します。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	×	○	○	×

4-17. RS-232C テスト

機能概要	RS-232C の動作を確認します。			
機能	・ GP から動作確認結果を取得します。			
対応機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
	×	○	○	○

5. メンテナンス

GP の調整目的で使用します。プリンタのプロパティからユーティリティタブ内の[メンテナンス]ボタンを押します。
入力するパスワードにより、表示するメンテナンス画面が異なります。

“009” … 「メンテナンス」を表示します。

“911” … 「高度なメンテナンス」を表示します。

5-1. GP-460RSe/GP-2000S

5-1-1. メンテナンス(標準)

GPのパラメータを調整します。

機種毎の初期値や上限値/下限値は、7-4. メンテナンス設定値をご参照下さい。

各パラメータの意味/動作に関しては、GPシリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

メンテナンス

ヘッド走行距離のクリア(Q)

履歴制御(A):	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	ギャップセンサーから印字位置までの距離(J):	548 dot
履歴制御 T1-T2-T3(B):	12 - 6 - 10	マークセンサーから印字位置までの距離(J):	548 dot
濃度変化率(25°C以上)(C):	7 /1000	台座先端から印字位置までの距離(K):	158 dot
濃度変化率(25°C未満・感熱時)(D):	10 /1000	カッターから印字位置までの距離(L):	248 dot
濃度変化率(25°C未満・熱転写時)(E):	-5 /1000	紙無し検出センサー感度(M):	80 %
発行後自動フィード(F):	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	剥離センサー感度(N):	75 %
印字開始時の検出エラー表示(G):	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	リボンセンサー感度(O):	60 %
本体走行距離:	000 Km 668 m 235 mm	外巻きモータートルク(P):	60 %
ヘッド走行距離:	000 Km 663 m 395 mm	GP-2000S専用	
ヘッド切れ警告距離(H):	60 Km	履歴制御TO:	40
		オートカッターから印字位置までの距離:	305
		オートカッターユニット開閉センサー感度:	75

保存(Y) キャンセル(Z)

※GP-2000S の画面です。

5-1-2. 高度なメンテナンス

GP のパラメータを調整します。

機種毎の初期値や上限値/下限値は、7-4. メンテナンス設定値をご参照下さい。

各パラメータの意味/動作に関しては、GP シリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

高度なメンテナンス

本体走行距離のクリア(Q)

ギャップの+誤差調整(A):	10	%	【フィード時のトルク】		
ギャップの-誤差調整(B):	10	%	80mm幅・内部巻き取りモーター(M):	60	%
ギャップ測定の最小幅(C):	90	cnt	40mm幅・内部巻き取りモーター(N):	40	%
ギャップ/マーク測定時の速度(D):	70	mm/秒	【モータートルク】		
ギャップ自動検出の基準値(E):	70	cnt	80mm幅・内部巻き取りモーター(O):	55	%
マーク自動検出の基準値(F):	35	cnt	40mm幅・内部巻き取りモーター(P):	40	%
スローアップステップ数(G):	120	dot	【逆転トルク】		
スローアップスタートスピード(H):	90	mm/秒	80mm幅・内部巻き取りモーター(Q):	45	%
印字開始時の濃度係数(I):	65		40mm幅・内部巻き取りモーター(R):	45	%
プラテン用事前フィード量(J):	0	dot	【剥離時の印字位置補正】		
ラベル長エラーの余裕値(K):	200	dot	80mm幅・印字位置補正(S):	-2	dot
剥離時の停止時間(L):	50	× 10m秒	40mm幅・印字位置補正(T):	-4	dot
外部巻き取り時の強制発行:	<input type="button" value="なし"/> <input type="button" value="あり"/>		【事前フィード時のモータートルク】		
			60mm幅以上・内部巻き取り(U):	20	%
			60mm幅未満・内部巻き取り(V):	2	%
			【事前フィード量】		
			60mm幅以上・事前フィード量(W):	0	dot
			60mm幅未満・事前フィード量(X):	0	dot

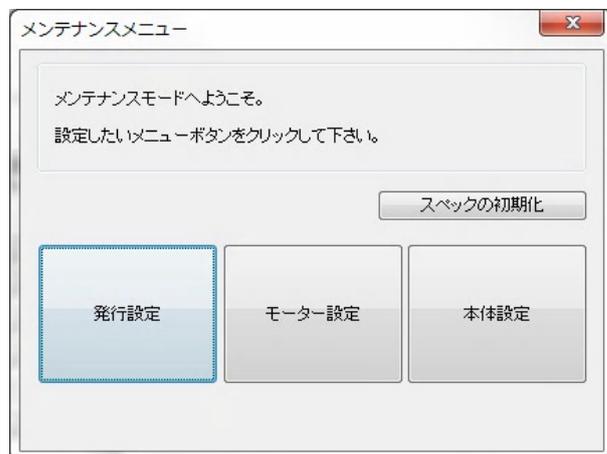
GP-2000S専用

スローアップステップ数・熱転写:	24	dot	【熱転写バックフィード】		
速度変化のトルク係数:	5		スピード調整:	<input type="button" value="なし"/> <input type="button" value="あり"/>	
熱転写時のトルク係数:	990		スタートスピードカウン:	2200	
巻き取り時間切り替えラベル幅:	40	mm	(大きくなるほど遅くなる)		
巻き取り時間(ラベル幅大):	100ms		スピードのマイナスカウン:	1	
巻き取り時間(ラベル幅小):	160ms		(大きいほど速くなり 本来のバックフィードスピードに近づ)		

※GP-2000S の画面です。

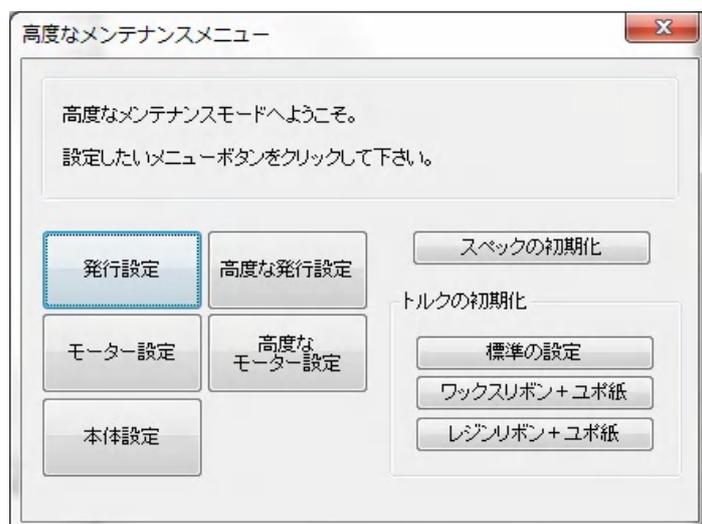
5-2. GP-4100S/GP-4100S24dpm

[メンテナンスメニュー(標準)]



※GP-4100S の画面です。

[高度なメンテナンスメニュー]



※GP-4100S の画面です。

5-2-1. 発行設定

GP のパラメータを調整します。

機種毎の初期値や上限値/下限値は、7-4. メンテナンス設定値をご参照下さい。

各パラメータの意味/動作に関しては、GP シリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

メンテナンス-発行設定

ラベラー情報(L)

履歴制御(A):

履歴制御 T1-T2-T3, TO(B): 13 - 3 - 7 , 40

濃度-温度変化率(C): 7 /1000

印字開始時の検出エラー表示(D):

発行後自動フィード(E):

※“発行形式”が[外部巻取り]で“外部巻取りの種類”が[下置き]の時、又はラベル長が25mm未満の時は、“発行後自動フィード”は、[なし]固定の動作となります。

リボンセーブ比率(G): 10 ×10%

ギャップセンサーから印字位置までの距離(H): 1010 dot

マークセンサーから印字位置までの距離(I): 1010 dot

台座先端から印字位置までの距離(J): 135 dot

本体カッターから印字位置までの距離(K): 220 dot

オートカッターから印字位置までの距離(L): 463 dot

下置き外部巻取りカッターから印字位置までの距離(M): 415 dot

フィード位置の基準(O):

外部巻取りの種類(P):

自動剥離時の事前フィード量(Q): 0 dot

※GP-4100S の画面です。

5-2-2. 本体設定

GP のパラメータを調整します。

機種毎の初期値や上限値/下限値は、7-4. メンテナンス設定値をご参照下さい。

各パラメータの意味/動作に関しては、GP シリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

メンテナンス-本体設定

走行距離のクリア(D) カッター動作回数のクリア(C)

紙無し検出センサー感度(A): 80 %

剥離センサー感度(B): 75 %

リボンセンサー感度(D): 60 %

本体走行距離: ??? Km ??? m ??? mm

ヘッド走行距離: ??? Km ??? m ??? mm

ヘッド切れ警告距離(E): 60 Km

カッター動作回数: ? 回

保存(Y) キャンセル(N)

※GP-4100S の画面です。

“本体走行距離のクリア”は、高度なメンテナンスモードをご参照下さい。

5-2-3. モーター設定

GP のパラメータを調整します。

各パラメータの意味/動作に関しては、GP シリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

メンテナンス-モーター設定

モーター種類	幅	設定値 (%)
外部巻取りモータートルク	調節範囲(A)	10
	調節範囲(A)	10
外部巻取りモータートルク(前置き型)	128mm幅(E)	80
	40mm幅(E)	60
内部巻取りモータートルク	128mm幅(B)	26
	40mm幅(D)	19
外部巻取りモータートルク(下置き型)	128mm幅(G)	19
	40mm幅(H)	17

保存(Y) キャンセル(N)

※GP-4100S の画面です。

5-2-4. スペックの初期化

メンテナンスの設定値を初期化します。

5-2-5. 高度な発行設定

GP のパラメータを調整します。

各パラメータの意味/動作に関しては、GP シリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

メンテナンス-高度な発行設定

ラベラー情報(L)

ギャップの+誤差調整(A):	10	%
ギャップの-誤差調整(B):	10	%
ギャップ測定の最小幅(C):	60	cnt

ギャップ自動検出の基準値(D):	70	cnt
マーク自動検出の基準値(E):	35	cnt

スローアップステップ数(F):	200	dot
スローアップスタートスピード(G):	90	mm/秒

バックフィード補正量

剥離時(H):	2	dot
オートカット時(I):	0	dot
リボンセーブ・垂流し時(J):	0	dot
リボンセーブ・剥離時(K):	0	dot

印字開始時の濃度係数(L):	25	
プラテン用事前フィード量(M):	16	dot
ラベル長エラーの余裕値(O):	200	dot
剥離時の停止時間(P):	50	× 10m秒
外部巻取り時の強制発行:	<input type="button" value="なし"/> <input type="button" value="あり"/>	

リボンエラーの検出回数(Q):	10	回
オートカット時のバックフィード可能ラベル長(R):	50	mm

オートカッターの速度率(S):	26				
オートカッターのカット位置調整1-2-3(T):	5	-	75	-	30

リボンサーバーのサーバー遅延

連続発行時(U):	10	dot
発行終了時(V):	80	dot

※GP-4100S の画面です。

5-2-6. 高度なモーター設定

GP のパラメータを調整します。

各パラメータの意味/動作に関しては、GP シリーズの取扱説明書、サービスマニュアル等をご参照下さい。

メンテナンス-高度なモーター設定

前軸リボンモーター	リボンセーブ時のリボンモーター
逆転トルク調整(A): 20 %	前軸トルク・径80mm(Q): 17 %
連続発行時の逆転トルク(B): 20 %	前軸トルク・径35mm(R): 5 %
逆転スピード(C): 60 mm/秒	後軸トルク・径80mm(S): 60 %
正転のデレイ時間(D): 10 × 10m秒	後軸トルク・径35mm(T): 45 %
” (連続発行時)(E): 1 × 10m秒	
逆転のデレイ時間(F): 1 × 10m秒	後軸リボンモーター
前軸トルクの最大値(G): 58 %	後軸トルク・径80mm(U): 85 %
前軸トルクの最小値(H): 16 %	後軸トルク・径35mm(V): 67 %
前軸トルクの調整値(I): 0 %	後軸トルク(バックフィード時)(W): 45 %
スローアップトルク分割率(J): 50 %	後軸トルク(停止時)(X): 45 %
” (フィード時)(K): 90 %	温度-トルク変化量 (25°C基準)(Z): 5 %/5°C
フィードトルク低下量① (通常のフィード)(L): 20 %	内部巻取りモータートルク
フィードトルク低下量② (測定フィード)(M): 0 %	逆転トルク(A): 35 %
フィードトルク低下量③ (ヘッドアップフィード)(O): 20 %	128mm幅(フィード時)(①): 30 %
起動時のリボン正転モーター 増加量(P): 1	40mm幅(フィード時)(②): 20 %
	128mm幅(事前フィード時)(③): 35 %
	40mm幅(事前フィード時)(④): 10 %

保存(Y) キャンセル(N)

※GP-4100S の画面です。

5-2-7. トルクの初期化

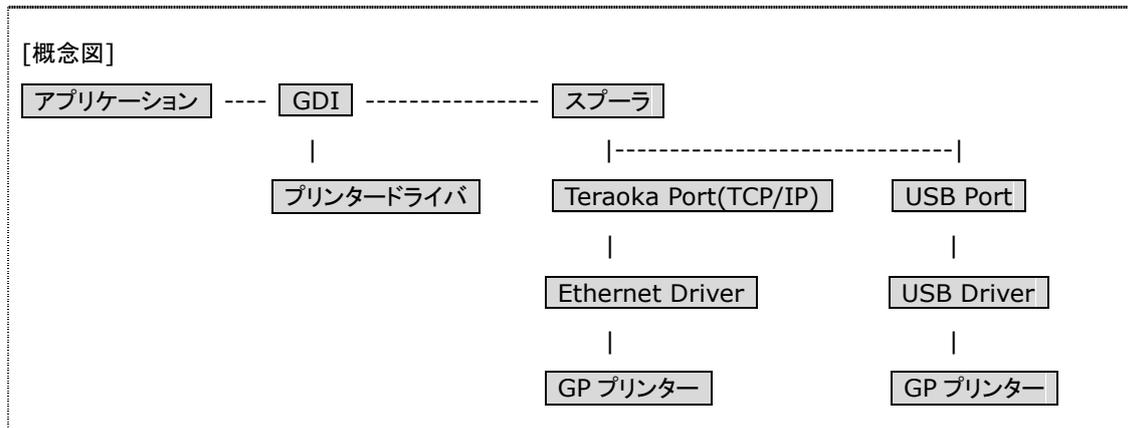
GP-4100S 系専用の機能です。

選択可能な初期化方式と、初期値を記します。

初期化項目		初期化方式	標準の設定	ワックスリボン+ ユポ紙	レジンリボン+ ユポ紙
前軸リボンモーター バックフィード関連	逆転トルク調整		20	20	20
	逆転スピード		60	60	60
前軸リボンモーター	前軸トルクの調整値		0	-10	0
後軸リボンモーター	後軸トルク径 35mm		67	60	60
	後軸トルク径 80mm		85	70	70
	後軸トルク径(停止時)		45	30	30

6. 印刷ポート

GP への印刷指示は、印刷ポートを経由して送信されます。

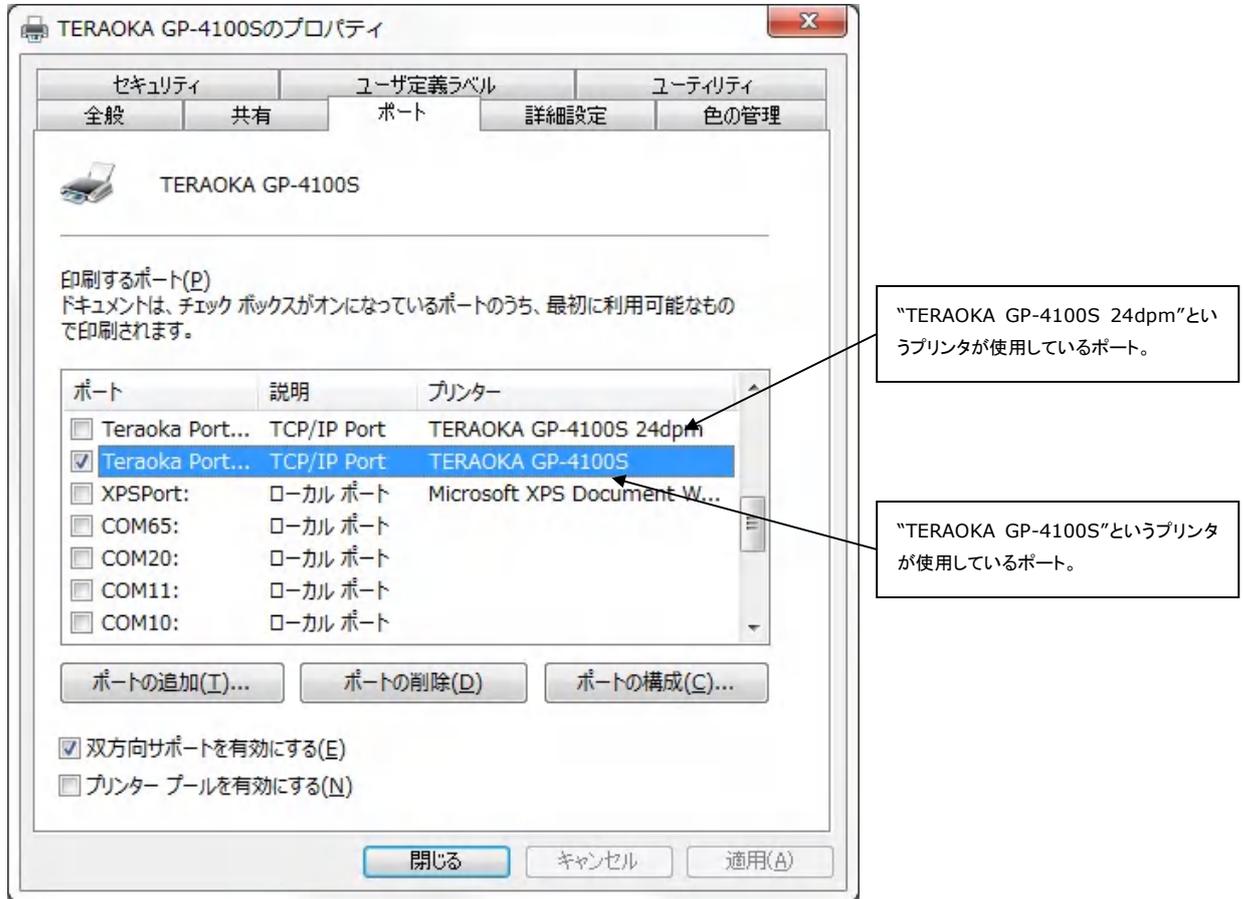


TCP/IP の場合、本ポートモニタは独自の TCP/IP ポート“Teraoka Port(TCP/IP)”を使用します。

Standard TCP/IP では、正常に印刷することはできません。

6-1. TCP/IP ポート

プリンタのポートを変更して、印刷対象を変えることができます。



また、[ポートの構成]から通信先の IP アドレスを変更できます。ポート名は変更できません。

ポート番号は GP と同期を取らねばなりませんので、通常は変更しないで下さい。

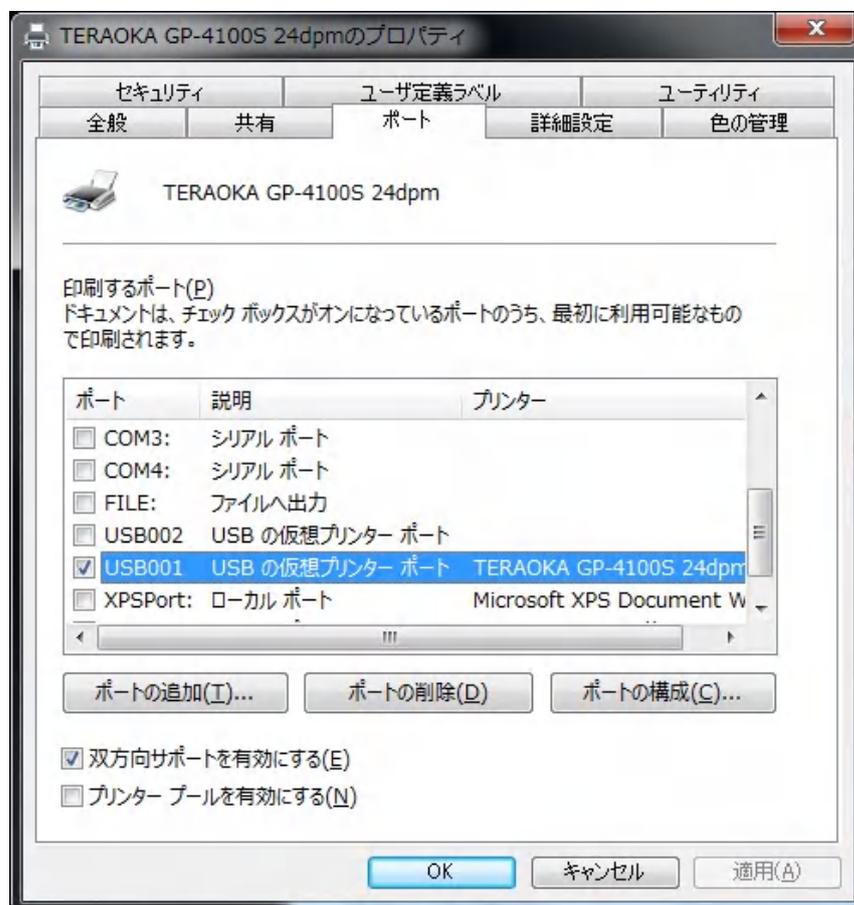


GP 本体で IP アドレスを変更するには、取扱説明書またはサービスマニュアルをご参照下さい。

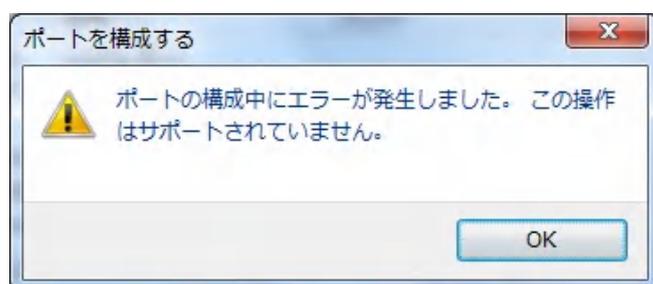
PC から GP の IP アドレスを変更させるには、4-9. ラベラーの IP アドレス変更をご参照下さい。

6-2. USB ポート

プリンタのポートを変更して、印刷対象を変えることができます。



[ポートの構成]ボタンから編集する内容はありません。



GP 本体で USB シリアル番号を変更するには、取扱説明書またはサービスマニュアルをご参照下さい。

PC から GP の USB シリアル番号を変更させるには、4-10. ラベラーの USB シリアル No.変更をご参照下さい。

7. 参考データ

7-1. 機種別ラベル設定値

項目 \ 機種	GP-460RSe	GP-4100S	GP-4100S 24dpm	GP-2000S
ラベル幅 (mm)	80 (20-80) ※1	128 (20-128) ※1 ※5	112 (20-112) ※1 ※5	80 (20-80) ※1
ラベル長 (mm)	55 (23-500)	60 (1-500) ※5	60 (1-250) ※5	55 (23-500) 55 (33-500) ※4
ギャップ (mm)	2 (0-999)			2 (0-999) 3 (3-999) ※4
印字速度 (mm/s)	100 (70-150) ※2	150 (70-200) ※2	80 (70-100) ※2	100 (70-150) ※2
印字濃度 (%)	58 (1-99) ※3			60 (1-99) ※3
ラベルタイプ	感熱 熱転写			
発行形式	垂れ流し 自動剥離 外部巻取り	垂れ流し 自動剥離 外部巻取り オートカット	垂れ流し 自動剥離 外部巻取り オートカット	垂れ流し 自動剥離 外部巻取り オートカット
センサー	ギャップ マーク			

※数値項目は、初期値と()括弧で最小値-最大値を記載。

※1: 「熱転写」で「自動剥離」の場合は、ラベル幅 40mm 未満を設定できません。

※2: 「自動剥離」の場合は、上限値が 100mm/s になります。

※3: 但し、機種毎の独自の算出方法によって上限値は制限されます。

※4: 発行形式が「オートカット」の場合。

※5: 4100S 系のスペックでは、幅 40mm 以上、長さ 40mm 以上を推奨しています。印刷動作/品質に悪影響を与える可能性があります。

7-2. 印刷時に GP から通知されるメッセージ

GP から通知され、ステータスモニターで表示するメッセージを記します。

No.	GP-460RSe	GP-4100S/GP-4100S24dpm	GP-2000S
000	エラーは解消されました。 引き続きご使用下さい。		
001	【メッセージ No.001】 プリンタヘッドが上がっています。 【対処法】 本体に向かって右側のカバーを開け、赤いレバーを上げて下さい。その後に[紙送り]ボタンを押して下さい。	【メッセージ No.001】 プリンタヘッドが上がっています。 【対処法】 本体に向かって右側のカバーを開け、水色のレバーを下げて下さい。その後に[紙送り]ボタンを押して下さい。	【メッセージ No.001】 プリンタヘッドが上がっています。 【対処法】 本体に向かって右側のカバーを開け、赤いレバーを上げて下さい。その後に[紙送り]ボタンを押して下さい。
002	【メッセージ No.002】 インクリボンがありません。 【対処法】 インクリボンを交換して[紙送り]ボタンを押して下さい。		
003	【メッセージ No.003】 ラベルのギャップが見つかりません。 【対処法】 ・ラベル設定の"ラベル長""ギャップ長"は、使用用紙と一致していますか？ ※ラベル設定の検出センサーが「ギャップ」の場合は、こちらを表示します。 ・用紙やインクリボンは正しく取り付けられていますか？(本体カバー裏面 説明図参照) ・レシート紙を使用する場合は、ラベル設定の"センサー検出"を"なし"に設定して下さい。 ・[紙送り]ボタンを押して、エラーが解消されるかどうかご確認下さい。		
	【メッセージ No.003】 ラベルのマークが見つかりません。 【対処法】 ・ラベル設定の"ラベル長"は、使用用紙と一致していますか？ ※ラベル設定の検出センサーが「マーク」の場合は、こちらを表示します。 ・用紙やインクリボンは正しく取り付けられていますか？(本体カバー裏面 説明図参照) ・レシート紙を使用する場合は、ラベル設定の"センサー検出"を"なし"に設定して下さい。 ・[紙送り]ボタンを押して、エラーが解消されるかどうかご確認下さい。		

004	【メッセージ No.004】 ラベルがありません。 【対処法】 ラベルを交換して[紙送り]ボタンを押して下さい。		
005	メッセージ No.003 を表示します。		
006	メッセージ No.003 を表示します。	【メッセージ No.006】 印字濃度が高すぎます。 【対処法】 印刷設定で選択しているラベルの印字濃度を下げてください。	
007	GP-4100S 系 No.006 と同等		
029		【メッセージ No.029】 カッター部で異常を検出しました。 【対処法】 本体の前面下側のカバーを開け、プレーカースイッチを押して下さい。電源を切ってカッターの上カバーを外し、異物を取り除いて下さい。	【メッセージ No.029】 カッター部で異常を検出しました。 【対処法】 ラベルがカッターに付着している場合は、プリンタの電源を切ってからラベルを取り除いて下さい。 プリンタの電源投入後、再度印刷し直して下さい。
044		【メッセージ No.044】 プリンタコントローラを初期化できません。 【対処法】 プリンタの電源を OFF & ON して下さい。再起動した後も症状が改善されない場合は、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。	
046		【メッセージ No.046】 プリンタ本体のカバーが開いています。 【対処法】 カバーを閉じてから操作を継続して下さい。	
047		【メッセージ No.047】 転送エラーが発生しました。 【対処法】 [紙送り]ボタンを押して下さい。	
049		【メッセージ No.049】 ラベルサイズを確認して下さい。 【対処法】 使用しているラベルサイズ、及び印刷設定で選択しているラベルの設定値をご確認下さい。ラベルを交換、又は設定を変更した後は[紙送り]ボタンを押して下さい。	

056	GP-4100S 系 No.044 と同等		
064	GP-4100S 系 No.047 と同等		
067	GP-4100S 系 No.049 と同等		
107		<p>【メッセージ No.107】 ヘッド切れを検出しました。</p> <p>【対処法】 ヘッド切れを無視して印刷する場合は、プリンタ本体の[決定]キーを押した後にダイアログ上のボタンを押して下さい。ヘッドを交換する場合は、お買い上げ頂いた販売店へご相談下さい。</p>	
262			GP-4100S 系 No.107 と同等
263			<p>【メッセージ No.263】 プリンタ本体のカッターユニットが開いています。</p> <p>【対処法】 本体前面のカッターユニットを閉じて下さい。</p>
264			<p>【メッセージ No.264】 カット位置にラベルがありません。</p> <p>【対処法】 本体前面のカッターユニットを手前に開き、ラベルをカッターユニットに通して下さい。 カッターユニットを閉じた後、[紙送り]ボタンを押して下さい。</p>
265			<p>【メッセージ No.265】 プリンタ本体の印刷口にラベルが残っています。</p> <p>【対処法】 本体前面の印刷口にラベルが残っている場合は、ラベルを取り除いて下さい。</p>
901	<p>【メッセージ No.901】 プリンタが発行または紙送りをしています。</p> <p>【対処法】 発行または紙送りが終わった後に再実行して下さい。</p>		
998	<p>【メッセージ No.998】 パソコン側で発行を中断しました。</p>		

999	<p>【メッセージ No.999】 プリンタ側で発行が中断されました。</p> <p>【対処法】 プリンタ側の状況をご確認の上、ダイアログ上の何れかのボタンを押して下さい。</p>
-----	--